

【様式1】

岡山県運動部活動の在り方に関する「運動部活動方針」実践推進事業 実践事例集

- I 部活動を通じた食育の推進
- II 合理的でかつ効率的・効果的な活動実践
- III ライトスポーツの実践

【岡山県立 岡山御津高等学校】

1 実践テーマ	Ⅲ ライトスポーツの実践
2 実施対象部活 (学年・人数)	全校生徒204人(※R5.12.26時点)のうち、それぞれの種目に希望して参加した生徒
3 実施期間	令和5年5月～令和5年1月
4 達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ○様々なレクリエーションスポーツを体験したり、応援したりすることで、運動への意欲が高まる。 ○適度な実施回数により、継続しようとする意欲が高まる。 ○様々な部活動の生徒が一緒になって1つの種目を行うことで、学校全体の活性化につながる。 ○生徒の主体的な活動に対する意識が向上する。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○普段生徒が行うことが少ないレクリエーションスポーツの実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨガ(初心者対象、運動部対象) ・カヌー体験 ・アロマヨガ ・フットゴルフ ○生涯にわたって自らスポーツと関わろうとする態度を育成する。 ○地域のマラソン大会(みつマラソン)にボランティア参加することで、「見る」「支える」というスポーツへの関わり方を学ぶ。
6 取組における工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ○運動経験が少ない本校の生徒でも気軽に楽しめるような運動強度の低い種目を選んだ。 ○外部講師を積極的にお招きしたり、校外施設へ出向くことで、様々な大人とコミュニケーションを楽しみながら実施できる種目とした。 ○勝敗がつく種目ではなく、自分の体と向き合ったり、自然を楽しみながら行える種目とした。
7 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○運動部対象のヨガの後には、部活動の練習前のストレッチに自主的にヨガを取り入れる生徒がいた。 ○中学までにほぼ運動経験のない生徒が、毎回参加してくれて、事後アンケートではすべての活動において「楽しかった」「運動する意欲が向上した」との回答を得た。
8 主な課題等	○どの種目も全校生徒へ参加の募集をしたが、想定していたよりも参加希望が少なく、運動部の生徒に個別に声をかけて参加してもらうことが多かった。本校のように、運動部加入率が低く、さらに、通学に使用している

	JR の時間も限られている学校では、放課後に残って活動することを敬遠する生徒の実態があった。
9 提案等	○フットゴルフ（岡山北ゴルフ）やみつマラソンへのボランティア参加など本校の立地を活かした活動を行うことができたので、今後もその学校の実態や立地に応じた種目を検討していただきたい。